

「TEAM EXPO 2025」プログラム

で大阪・関西万博に参加しましょう！



① 「共創チャレンジ」に登録して地域や自社をPR！

社会課題の解決やSDGsの達成に向けた活動、未来へのつながりを作るものなど、
自分たちが描く未来の実現に向けたアクションを共に創っていく**参加型プログラム**です

共創チャレンジ活動例



・分野は問わず！ワクワクする未来へのアクション募集！

▶ 「CRASSO」オープンファクトリーを中心とした
ファクトリーツーリズムでものづくりの聖地を目指す！

<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/1367>

▶ バイオマス由来の高機能素材
CNFの社会実装チャレンジ
<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/1418>

世界へ発信！

- ・全国どこからでも、今からでも参加できます！
- ・既に取組んでいるもの、これから取組むものも対象！

■登録チームの単位

- ✓ 単一企業内でチームを組み登録
- ✓ 組合や公的機関・教育機関などで登録
- ✓ 個人の活動仲間で登録（2人以上であればOK！）

■登録するとできること（今からできる）

- ✓ 専用ロゴマークが使用可能
- ✓ 公式WEBサイトで情報発信
- ✓ TEAM EXPO 2025 Meetingに参加して、
共創の促進、チャレンジ仲間との新たな出会い



名刺に活用！



自社HPにて
PR！



公式HPの投稿機能で
情報発信！



出典：「阿波みよし名産 祖谷の薬草エメラルドよもぎ」

出典：「TEAM EXPO 2025」公式HP
みんなの投稿

TEAM EXPO 2025プログラムに参加することで、会場参加にも応募できる！

②万博会期中 現地で出展・発表 でさらなるPR！（会期中にできる）

■「TEAM EXPOパビリオン」

「TEAM EXPO 2025」プログラム
登録チームを対象にした会場内での
展示・発表（有償）

- ✓ 会場内で約3000チームの発表・展示エリアを確保
- ✓ すでに募集開始しております！（3回に分けて募集実施）
- ✓ 第3期募集期間：2024年4月22日～（枠が埋まり次第終了）

（詳細：<https://www.expo2025.or.jp/sponsorship/future/#sec1>）

※「TEAM EXPO パビリオン」「ベストプラクティス」はどちらも応募が必要で、かつ、「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加していることが要件です。



「TEAM EXPO 2025」プログラムの参加が
万博後もレガシーとして継承！

さあ、あなたも「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加しましょう！

参加登録はこちらから https://team.expo2025.or.jp/regist/term_ja

■「TEAM EXPO 2025」プログラム参加の流れ

申請
・登録



➡ ①共創チャレンジ
内容登録 ➡

取組
PR! ➡

新たな出会い・
共創促進 ➡

②万博会期中の出展・発表に応募可
●「TEAM EXPOパビリオン」
●「ベストプラクティス」 ➡

当局も共創パートナー（TEAM EXPO 2025 プログラム）に登録し、共創チャレンジを支援しています！

お問合せ先：

香川県高松市サンポート3-33 四国経済産業局 新事業推進課 TEL：087-811-8521



経済産業省
四国経済産業局

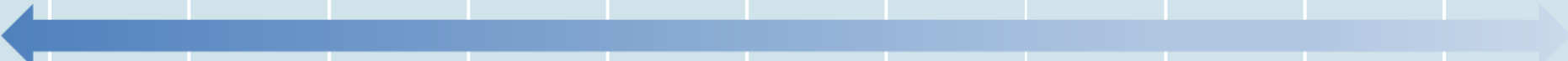


OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

【参考】「TEAM EXPO パビリオン」（会場内）への参加費用・スケジュール

	ステージ発表&展示 （共創チャレンジ）	ステージ利用 （共創チャレンジ）	ブース展示 （共創チャレンジ）	ステージ発表&展示 （共創パートナー）
期間	【ステージ】 30分（入替込） 【展示】 1日	1.5時間（入替込）	2～6ブース、1日/3日/7日	【ステージ】 2時間（入替込） 内)共創チャレンジ30分×3組 + 自社30分 【展示】 1日
費用 （税込み）	22万円	33万円×枠数	11万円×ブース数×日数 （22万～462万円）	88万円
枠数	2,900枠程度	130枠程度		130枠程度
面積	【ステージ】 約60㎡ 【展示台】 1.0×1.0×1.5m程度	【ステージ】 約60㎡	【展示台】 約10㎡（2ブース）～ 約30㎡（6ブース）相当	【ステージ】 約60㎡ 【展示台】 1.0×1.0×1.5m程度

■ 募集から実施までのスケジュール予定 ■

2024 年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025 年1月	2月	3月
 参加者募集(第3期) ※出展枠が埋まり次第終了											
 書類審査、TEMT（実地確認）、登録証発送、不合格者フォロー											

「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジの紹介

● 共創チャレンジ事例紹介



食物性食品廃棄物からアップサイクル化粧品・食品原料！！

共創チャレンジ

2024.03.05



法人

チーム名 | 愛媛製紙株式会社 MaCSIE事業部

現在の活動地域 | 愛媛県

活動テーマ | 科学技術、バイオテクノロジー/健康・医療（ライフサイエンス、ヘルスケア）/食/地域活性化/農業、林業、水産業/ものづくり、サービス

■共創チャレンジの内容

愛媛県ではジュース工場が発生する年間約5,000tの柑橘果皮が廃棄され、その有効利用が大きな課題となっています。我々は製紙の技術に応用し、果皮に含まれるセルロースをナノサイズの繊維幅まで細かくした、様々な機能を持つペースト（製品名MaCSIE（マクシー））を開発しました。

MaCSIEは乳化や保水などの多くの機能性を持つため、化粧品や食品の原料として幅広く利用されています。

また、この技術を柑橘以外の植物系食品廃棄物（海藻類、豆類）へも応用し、多様な素材からナノファイバーを生産しています。共創チャレンジを通し、共感してもらえるメンバーを増やし、更に幅広い廃棄物からアップサイクル原料をつくる取り組みを拡大したいと考えています。

■展開したい地域

愛媛県の柑橘を原料とした生産をメインにしていますが、様々な地域の様々な植物に広げていきたい。

■共創を希望する方々

植物系食品廃棄物から価値ある原料を作り出し、それを利用したい方
アップサイクル原料を求める食品産業に携わる方
アップサイクル原料を求める化粧品産業に携わる方

■大阪・関西万博テーマとの関わり

廃棄物から高機能なアップサイクル原料を創り出す取り組みであり、廃棄物系や植物系原料の利用拡大は未来の社会デザインに必須であると考えています。

課題

- ・多くの柑橘果皮の**廃棄**とその**有効活用**

解決方法

- ・**製紙技術**の応用→セルロースを微細化
➢多機能ペースト(MaCSIE)を開発！

活用方法

- ・化粧品や食品原料への活用
- ・海藻類や豆類などの植物系食品廃棄物へも
応用 = **アップサイクル原料**の開発拡大！

どんな方と繋がりたいか

- ・植物系食品廃棄物から原料を生成し、
それを活用したい方
- ・アップサイクル原料を求める、
食品産業関係者や化粧品産業関係者